

◎別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	第 7 回加東市滝野地域小中一貫校開校準備委員会		
開催日時	令和 6 年 5 月 2 1 日（火） 1 9 時 3 0 分から 2 0 時 4 5 分まで		
開催場所	加東市滝野図書館 3 階 会議場		
議長の氏名（委員長 野瀬 光）			
出席及び欠席委員の氏名			
【出席委員】 2 4 人			
芹生一二委員 澤田眞委員 藤森敬史委員 野瀬 光委員 大久保信三委員			
大久保祥男委員 阿江孝仁委員 末廣義隆委員 藤井智章委員 松本孝介委員			
藤井宗光委員 垣内基光委員 重松祐介委員 合田忠弘委員 川越勝則委員			
竹内 司委員 藤川かほる委員 川越一宏委員 小林豊茂委員 安田文子委員			
神田英昭委員 前川妙子委員 後藤浩美委員 日置和子委員			
【欠席委員】 3 人			
高田好幸委員 玉田裕二委員 神戸つかさ委員			
説明のため出席した者の職氏名			
【教育委員】			
田中寿一教育委員 後藤純子教育委員 岸本恵一教育委員 別惣裕美子教育委員			
【株式会社東畑建築事務所】			
*** **			
出席した事務局職員の氏名及びその職名			
教育長 藤原哲史			
教育振興部長 鈴木敏久			
こども未来部長 田中孝明			
こども未来部参事兼学校教育課長 井上裕子			
こども未来部参事（小中一貫教育担当） 藤原路寛			
教育振興部 教育総務課 課長 西山英希			
こども未来部	小中一貫教育推進室	室長	丸山真矢
こども未来部	小中一貫教育推進室	副課長	高田 篤
	同	係長	原 英孝
	同	主査	宇高健太
	同	係長	靱 あゆみ
	同	主査	柴崎俊之
	同	主査	上月慧太

議題、会議結果、会議の経過及び資料名

【議題】

- (1) 開校準備委員会組織について
- (2) 基本・実施設計について

【報告】

- (1) 滝野地域制服等検討部会の協議結果について

【会議結果】

議題(1)(2)について資料に基づき、事務局から説明を行い、審議しました。

報告(1)について事務局から報告しました。

【会議の経過】

1 開会

教育長あいさつ

2 委員紹介

委員、事務局職員 自己紹介

3 議事

(1) 開校準備委員会組織について

(委員長)

議事の(1)です。今年度新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、令和6年度滝野地域小中一貫校開校準備委員会組織について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

- ・資料2に基づき、開校準備委員会設置要綱等について説明した。

(1) 基本・実施設計について

(委員長)

議事の(2)「滝野地域小中一貫校基本・実施設計について」事務局より説明をしてもらいたいと思います。

(事務局)

- ・アフタースクールの配置について説明をした。

(東畑建築事務所)

- ・資料3-1に基づき、基本・実施設計について説明をした。

(事務局)

・資料３－２、３－３に基づき、事業スケジュールについて説明をした。

(***委員)

体育倉庫はどこにありますか。

(東畑建築事務所)

中学校グラウンドに面した部室棟に体育倉庫を設ける計画です。小学校グラウンドについては屋内運動場の１階に、屋外から使用できる体育倉庫を設ける予定です。

(***委員)

以前サブグラウンドが計画されていた位置に、アフタースクールとその遊び場を配置したことで、サブグラウンドがなくなってしまったが、中学校グラウンドの大きさは問題ないのか。

(事務局)

学校の校長、教職員の方々とも協議し、ご了解をいただいています。グラウンドの大きさにつきましては、今後も実施設計の中で検討していきたいと思えます。

(***委員)

前はソフトボール部がサブグラウンドで練習をしており、中学校グラウンドでは野球部とサッカー部が練習していた。

現在の部活の状況はわからないが、その点も含めて協議して問題なかったのか。

(事務局)

現在ソフトボール部は廃部となり、グラウンドで活動しているのが野球部とサッカー部だけになっています。

(***委員)

今は北西の角にアフタースクールを配置しているが、これをテニスコートと入れ替えて東側に配置し、職員駐車場とアフタースクール駐車場を共用できれば、遊び場またはサブグラウンド的なものも広がるのではないかと思う。

テニスコート４面の配置替えはできないということであれば仕方がないが、東側にアフタースクール関係施設を配置することを検討したのか。

(事務局)

アフタースクールに限らず、全体の配置を検討する中でいくつかのポイントがあり、そのひとつがテニスコートです。

既存のテニスコートは敷地の真ん中に配置していますが、その下を雨水幹線が通っています。令和6年度に行う雨水幹線の工事を進めていく中で、テニスコートが令和6年度の末に既存雨水幹線の撤去に合わせてなくなってしまいます。

今の中学生がテニス部の活動を継続するためには、雨水幹線の工事で今のテニスコートを撤去してしまう前に、先行してテニスコートを整備する必要があります。

先にテニスコートを整備するにあたって、なぜこの位置かという点につきましては、開発許可との関係があり、兵庫県の開発関係の担当部局と協議した結果、今のサブグラウンドをテニスコートにするのであれば開発許可の前に施工しても問題ないとのことでしたのでテニスコートをこの位置としました。

仮に今のアフタースクールと配置を逆にすれば、開発許可の後にテニスコートを整備することになり、約半年の間、テニスコートが学校にない期間が発生してしまいます。

工事工程、今の中学校生徒の生活を守るという観点からこのような配置にしています。

(***委員)

資料3-4-5の防災計画ですが、今の現在地に計画する上で一番ネックになった水害の問題について、敷地外から正門までの間地盤レベルを1.5m上げるとのことだが、加古川本流のハイウォーターレベル等と調整の中で1.5mあげるということか。

(東畑建築事務所)

地盤レベルを1.5mに設定している理由としましては、今おっしゃっていただいた内容から設定しているというよりは、既存校舎のレベルは今の高さから変えることができないため、それに増築することを考慮して、地盤を上げられる最大限まで引き上げているということです。

(***委員)

ということは加古川本流のハイウォーターレベルはなにも考慮していないということか。

(東畑建築事務所)

敷地自体が加古川のハイウォーターレベルより低くなっているので、現状は変更できないということになっています。

(事務局)

加古川のハイウォーターレベルの関係で、ハイウォーターレベルの高さに基づく調整池を整備します。

1.5mに関しては説明があった通り、既存校舎棟に関しては、新たに建設するわけではないので、高さを変えることはできませんが、これから建

設する増築校舍棟は今から造成する部分もあるので、正門から上り坂にすることで1.5mまでなら地盤で上げることができると考えています。

(***委員)

一番ネックになるのは防災関係だと思う。ひとつの考え方をもう少し具体的に整理して、1.5mでいいのか考えたのであればいいのだが、全体的な加古川の本当の水位等の考え方も考慮してもう少し計画を練ってほしいと思う。

(委員長)

今の加古川の整備計画が100年確率の大雨に対しての計画であり、それからすると水位はそこまでのものではないと思うが、1000年確率の雨が降れば水位が5mほどになると話が出ていたのでこういった意見がある。

なぜ地盤を上げるのか下げるのかももう少し根拠を持って提示してもらえればと思う。

(***委員)

いくつか質問がある。

一点目は、安全対策についてテニスコートがアフタースクールの遊び場のすぐ横にあるが、小学生も通うことになり加古川線の電車を見て楽しむのはいいことだが、グラウンドと線路の間のフェンスはどうなっているのか。

また、水害の関係で、敷地南側に立田川があるが大雨が降れば結構な水量だったと思う。小学生は気になったら見に行くことが考えられるが、そのあたりの安全対策もあれば教えてほしい。

二点目、アフタースクールの駐車場はお迎えの車が入ると思うが北側の門から進入するのか。

三点目が、ティーチャーステーションが職員室とはまた違った形で子どもたちの見守りができる場所であると思っているが、扉がないオープンなスペースであるのか。

四点目が、光庭についてだが、各階から光庭には出られないのか。

最後に、学習広場は雨や雪が降った時は、雨晒しになると思うが、すぐ下に図書室、メディアセンターがあつたりするので、そのあたり水が入ってこないのか教えてほしい。

(事務局)

一点目、まず線路と管理用通路の間には、1.8mのフェンスを設置します。この管理用通路とアフタースクールやテニスコートの敷地の間には、テニスコートは高さ8mの防球ネット、アフタースクールには一般的な柵やフェンスを設置するので、学校の敷地から線路までの間には2段階の安全柵があることになります。

立田川、つまり雨水幹線の増水についてですが、正門より下流側、南西の駐車場にするとところに水路があり、現在は田んぼになっています。

田んぼから駐車場にする際に地上げをします。それに伴い、水路の側壁、

水路の深さや高さも自動的に上がりますので、雨が降ればこの水路にたくさん水が流れますが、今より水路の天端と水位の高低差も軽減され则认为ます。

二点目、アフタースクールの駐車場は敷地東側の下滝野西線という市道から、小学校グラウンドの北側を通過して北門の手前で右折して線路沿いを通過していただくことになります。下滝野西線から北門に至るまでの道路、こちらでも現在は幅員4 m程度と狭いですが、7 m程度の道路に拡張し、北門からアフタースクールまで道も6 m程度幅員を設け、対面のすれ違いができるようにします。6 mのイメージですが、区画整理地内の道路と同じような幅員です。

(東畑設計事務所)

三点目、ティーチャーステーションについてですが、職員室とは別の先生方の見守りの場所となります。こちらについては教職員のPT会議で検討を重ねてきました。現在は扉付きで小部屋を設ける形になっています。

四点目の光庭についてですが、1階は入ることができますが、2階以上は吹き抜けになっており、入ることはできません。光庭は1階や2階の教室に光と風を通すものとなっているので、2階以上は床がありません。

五点目の学習広場については、屋根がありませんので雨の日には雨が入ってくるようになっていますが、側溝や柵を設けていますので、雨水が排出できる計画としています。雨水が室内に入らない設計としています。

(***委員)

道路の信号は新しくできたりするのか。

(事務局)

信号は警察との協議が必要ですが、今のところ滝野地域小中一貫校周辺に新しく設置する計画はありません。ただし、横断歩道等につきましては、開校までに児童生徒が安全に通学できるように検討していくところです。

4 報告

(1) 滝野地域制服等検討部会の協議結果について

(事務局)

- ・資料4に基づき、滝野地域制服等検討部会の協議結果について報告した。

5 今後のスケジュール

(事務局)

- ・資料5に基づき、今後のスケジュールについての説明をした。

6 閉会

副委員長挨拶

【資料名】

- 資料 1 滝野地域小中一貫校開校準備委員会名簿
- 資料 2 滝野地域小中一貫校開校準備委員会設置要綱
- 資料 3－1 滝野地域小中一貫校 整備概要
- 資料 3－2 滝野地域小中一貫校整備事業スケジュール
- 資料 3－3 滝野地域小中一貫校 令和 6 年度工事概要
- 資料 4 滝野地域制服等検討部会の協議結果について
- 資料 5 滝野地域小中一貫校開校準備委員会等教育施策組織・工程表（案）

令和 6 年 7 月 1 6 日